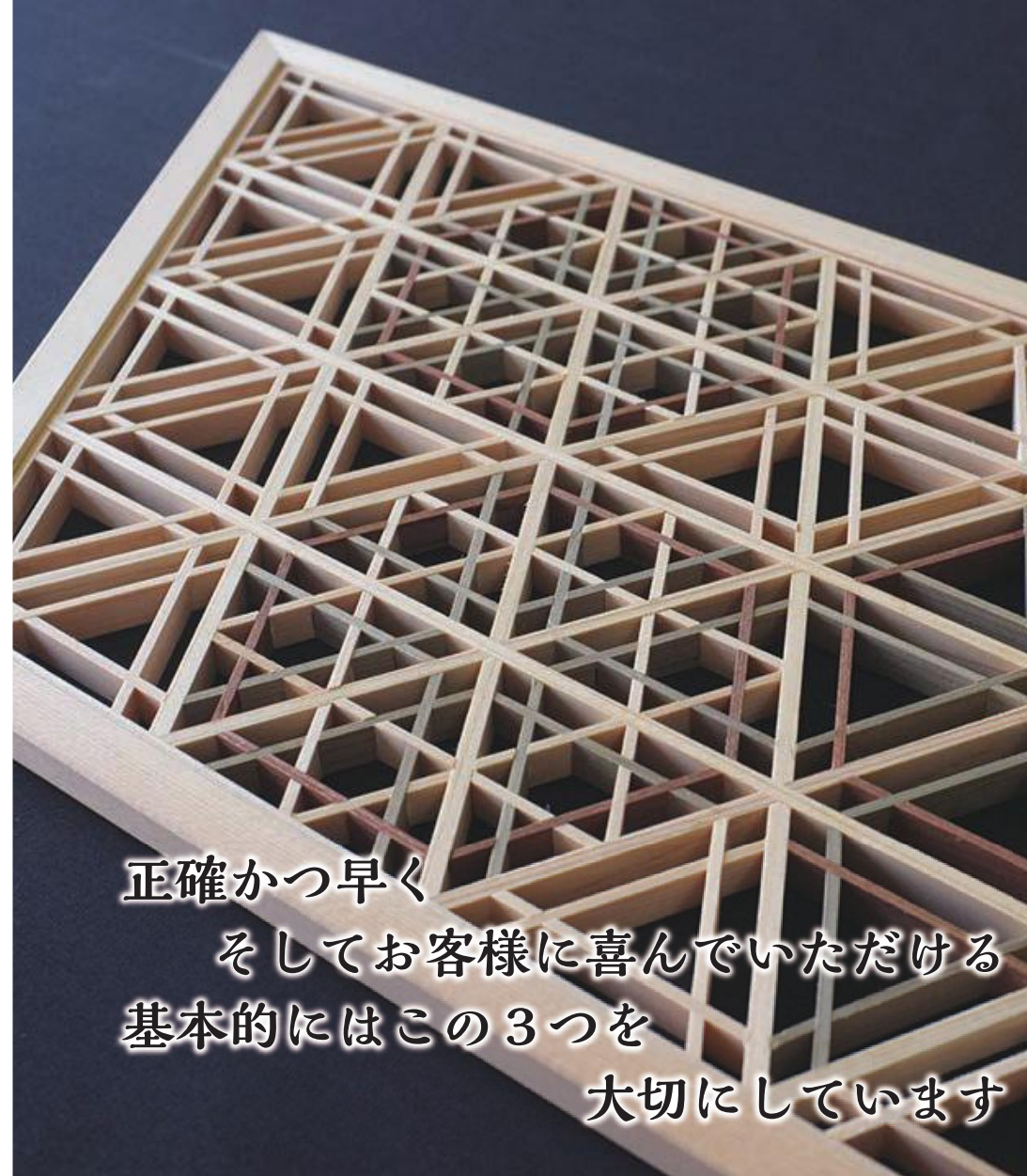


おうみの名工受賞 山元建具店 山元克司さん

県内の優れた技能者をたたえる「おうみの名工」に選ばれた山元建具店の山元克司さんは、日本の木工技術である組子を操り、木製建具を製作する職人です。今回、滋賀県技能者表彰「おうみの名工」を受賞されたことを受け、お話を伺いました。



正確かつ早く
そしてお客様に喜んでいただける
基本的にはこの3つを
大切にしています

山元 克司さん

祖父の代から続く建具職人の三代目。

住宅や建築物の建具の製作を行う。日本の木工技術である組子を製作する技能を持ち、その技能を用いて竹生島宝厳寺(重要文化財)などの歴史的建造物・文化財の修復にも携わっている。また、厚生労働省から平成28年に「ものづくりマイスター制度」の認定を受け、若年者に知識・技能を伝える活動にも取り組んでいる。

一級建築士、一級建築施工管理技士、一級建具技能士(検定滋賀県1位表彰)、職業訓練指導員

山元建具店(石部中央四丁目1-37)

☎77・4126 FAX77・5323

✉y.tategul27@gmail.com

おうみの名工

技能者の地位および技能水準の向上を図ることを目的として、優秀な技能を持ち、産業の発展や後進の育成に功績のあった技能者に対して、滋賀県技能者表彰(知事表彰)を行う。



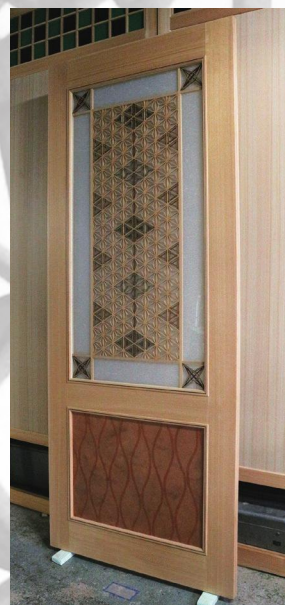
建具をつくる山元さん。釘やビスを使わずほぞ継ぎと呼ばれる方法で扉を組む。



ほぞ継ぎをした接合部に筆でお湯を塗ることで木部が膨張し、より強固に組みあがる。



山元さんの愛用道具たち。



過去の大会での受賞作品

まずは「おうみの名工」受賞おめでとうございます。率直に受賞された感想をお聞かせください。

ありがとうございます。資格や技能大赛と違い自分自身ではどうすることもできないので、推薦していただいた湖南市商工会、滋賀県建具協同組合や、評価の対象となる仕事を依頼していただいた方など多くの人のおかげだと思っています。また報道で知った地域の方々に祝っていたくれた喜びが増しています。

そもそも木製建具とはどのようなもので、どのようなところで使われていますか。

建具とは開口部における仕切りの部分を言います。玄関、窓、部屋の入口など周りを見渡すと必ずあるものです。

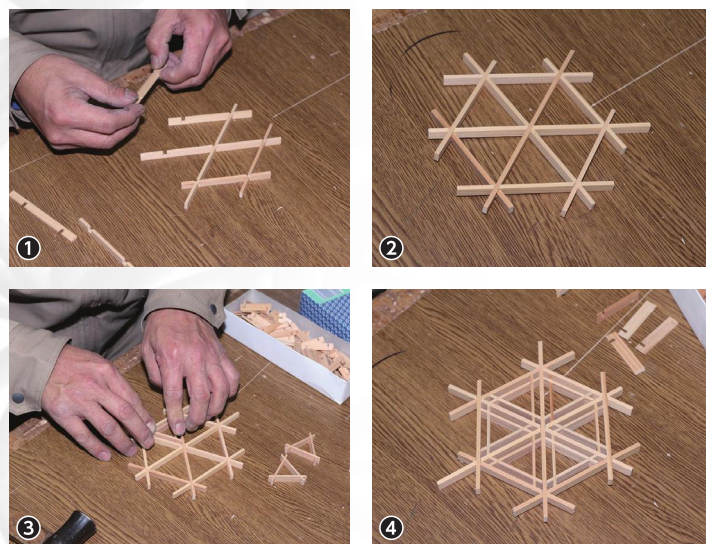
素材は鉄やアルミなどもありますが、私は桧や杉などの木で木目が美しく節のない部分を加工して建具を作っています。

住宅では既製品のドアが主流ですが、最近は温もりや香りなどが感じられる木の建具が見直されています。

建具を製作するにあたって常日頃から心がけていることはありますか。

正確かつ早く、そしてお客様に喜んでいただける、基本的にはこの3つを大切にしています。

組子ができるまで - 胡麻文様編 -



1. 1.8mm～3mmの薄さに加工した木片を組み、組子細工のベースとなる三つ組手(みつくで)をつくる。
2. 正三角形を作るため、角度60度で木片を加工し、三本集め交差させながら組んでいく。
3. 三つ組手で作られた三角形の中に「葉」といわれる木片を組み込んでいく。
4. 胡麻文様の完成。デザインやサイズによっては数千の木片を組むこともある。

つです。手間がかかっても美しい建具を希望される方もいれば、早くて安い建具を求められる方もいる。その辺を勘違いしない建具職人でありたいです。

歴史的建造物を修復・再現されているとのことですが、これまでどのような建造物をてがけてこられたのですか。

ヴォーリズ建築である旧八幡郵便局(近江八幡市)、水口教会(甲賀市)、木之本本陣、竹生島宝厳寺観音堂(長浜市)、寺子屋力石(彦根市)など、県内各地で修復再現の木製建具工事に携わらせていただきました。



旧八幡郵便局 (近江八幡市)

日本の住宅でも昔のような和風の建具は少なくなっていると思いませんか。伝統技術である組子の活用などどのように考えておられますか。

組子は細い木を組み合わせ強度を作り、様々な模様を作り出す日本の素晴らしい技法です。その良い伝統を現代住宅にマッチさせるため、デザインに取り入れたり、軽量化して強度を増したりと試行錯誤しています。ニーズの移り変わりもあるので永遠のテーマですね。

受賞作では3本の木が交差する三つ組手(みつくで)と言われる技法で地組みを作り、それによってできた正三角形の中に「葉」と呼ばれる木を組み込んで模様を作ります。言葉

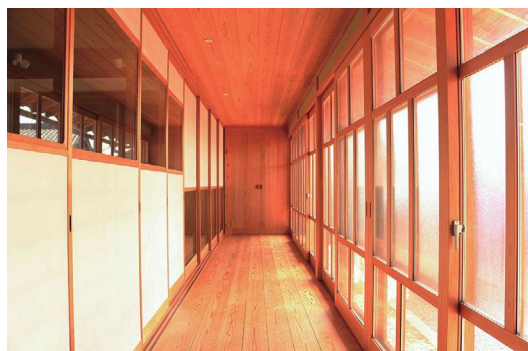


T様邸にある上部に組子をアレンジした扉。

で説明しても分かりにくいですね(笑)。
伝統技術の継承についてはどのように考えておられますか。

恥ずかしながら、そのような事を意識したのは数年前からです。生活のために跡を継ぎ、はじめのころは注文されたものを創意工夫して作っていくことだけを考えていました。ですが日本のトップレベルの人達の作品を見たり、その人達とお話をさせていただいたりした時に自分の無学ぶりが恥ずかしくなり、遅まきながら独学で勉強し始めたのが正直なところでした。

建具の技能がユネスコ無形文化遺産



左右と奥の扉すべて山元さんが手がけたN様邸の木製建具。

産になったことで、もっと技能を磨かなければと思っています。押し付けられて身に着けるものではないですが、広めていく努力はしなければならぬと考えています。

湖南市の皆さんや建具職人をめざす人にメッセージをお願いします。

木のぬくもりや香りを生活の中に取り入れられる木製建具。興味のある方はぜひお問い合わせください。喜んでお答えします。近くにいる建具職人をお気軽に活用ください。建具職人をめざす方もぜひ！作る楽しさ、できあがった喜び、そして現実の厳しさをお話しさせていただきます。



滋賀県が主催する滋賀オンライン仕事チャレンジフェスタ。山元さんは組子飾りの小物入れづくりを担当し、子どもたちに熱心に作り方を教えておられました。